

エアゾール製品を捨てる时候にご注意いただきたいこと

①火気のない風通しのよい戸外で、
風下に人がいないことを確認し、
新聞紙などの古紙をひいて
周囲を汚さないようにします。



たとえ換気扇等があったとしても、
屋内(台所のシンク・浴室など)では絶対に作業しないでください。
※ガスが下にたまって、引火する危険性あり！！



②製品の裏側をよく読み、
製品がどのようなタイプかを判別します。



A:「ガス抜きキャップ付き」の表記がある

【ガス抜きの注意事項】●中身を使い切ってから、火気のない戸外で行って
ください。●製品中のガスは可燃性・引火性があります。
【ガス抜きの方法】①缶のキャップを外し、キャップの中央の穴に
ガス抜きキャップを取り付けます。②缶のキャップを押し、ガス抜き
音が聞こえるまで押し続けます。③缶のキャップを押し、ガス抜き
音が聞こえなくなると、ガス抜きが完了します。④ガス抜きキャップを
取り外し、缶のキャップを閉じます。

**B:「ガス抜きキャップ付き」の
表記がない**

【捨てるときは、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタン
を押し、ガスを抜いてください。】
シクロメチコン10mL
キャップ>PP<、ボタン>PE,PBT<はプラスチックです。

③噴射する内容物を吸い込まないように十分注意し、古紙に中身を出し切ります。

<A:「ガス抜きキャップ付き」の表記がある製品>

まず、ガスの噴射音が消えるまでボタンを押し、**中身を出し切ります。**



古紙に向かって中身を出します。
“シュー”という音が聞こえなく
なるまで押し続けます。

中身が残っている状態で「ガス抜きキャップ」を使うと、
大量に内容物やガスがでることがあり、危険です。
中身を出し切ってからキャップをご使用ください。

その後、製品裏側に記載の「ガス抜きキャップ」の使用法に従い、
必ず製品付属のキャップを使い、
再度完全に噴射音が消えるまでガスを抜きます。
このとき、思わぬ事故を避けるために、その場を離れないでください。
また、ガスの影響で、缶が急激に冷たくなることがあります。
凍傷の恐れもあるので、缶を握ったままで作業はしないでください。



<B:「ガス抜きキャップ付き」の表記がない製品>

ガスの噴射音が消えるまでボタンを押し、**中身を出し切ります。**



古紙に向かって中身を出します



“シュー”という音が聞こえなく
なるまで押し続けます。

「ガス抜きキャップ」とは、
使い終わったエアゾール製品の缶の中に
残る少量のガスを、簡単に確実に出し切る
ためのキャップです。

製品によって、キャップの構造や使い方が
異なる場合があります。

使い方をよくご確認いただき、
お使いください。



○印がガス抜きキャップ

④ガスを完全に押し切ったあと、自治体のルール(家庭ごみ分別方法)に
従って廃棄してください。

※中身が残っているのに、ボタンが詰まる等して出し切れない場合、無理に出そうとせず、コーサーお客様相談室までお問い合わせください。
無理に穴を開けたり、缶をつぶそうとすると、思わぬ事故につながる恐れがあります。